

Scouting Ibaraki

2017 vol.46

茨城1期 WB研修所 スカウトコース開催される



新しい訓練体系に移行して初めての集合訓練として、5月4日(木)より3泊4日のWB研修所スカウトコースが開催されました。スカウトコースの目的は、「参加者がボーイスカウトの指導者としての責務を果たすことができるよう、スカウト教育に関する基本的な内容を習得する」ことです。そのため、隊指導者が身につけるべき基本的で且つ共通的な内容を取り扱い、技能訓練も兼ねています。食事の準備や設営・撤営もすべてセッションで、「How To」を身につけることを主とした研修です。

基本生活はボーイスカウト隊同様の隊編成で行いますが、例えば、班ハイキングや班活動を体験しながら、それがビーバーやカブ、ベンチャーやローバーとどのようにリンクしているのか、という視点で学ぶことが求められます。これはこれまでのWB研修所にはなかった視点です。

スカウトコースでは、できる限りの時間を体験活動に充て、参加者にスカウティングの『楽しさ』とは何かを考えていただくよう運営しました。それを基盤に課程別研修で各門の隊運営を学び、隊指導者としての一歩を踏み出してくださいたいと思います。

所長 宮田俊晴



日本ボーイスカウト茨城県連盟 <http://www.scout-ib.net>

平成29年度 年次総会開催される！



さる5月14日に平成29年度の年次総会が開催された。本年は「2017日本ジャンボレット高萩」が日本連盟の主催で開催されるため、日本連盟吉田常務理事より開会に先立って、ジャンボレットの構想が述べられ、管理棟とアーニーがジャンボレット開催に合わせて竣工との紹介があった。また8月6日には「茨城DAY」が開催されるので茨城県連盟に大いに期待していると述べられた。

表彰は茨城県表彰として「優良少年団」に水戸第2団と牛久第2団が輝いた。日本連盟の「たか章」に吉永行輝氏、「かっこう章」に高橋正一氏が受章された。このほかに県連感謝章2名、県連褒状に3名、日々の善行章に2名、県連有功章に1名が表彰された。

総会では分担金改定による予算が上程され、可決された。また、「指導者訓練の充実・役に立つ野外体験活動・スカウトとしての誇りと責任、奉仕活動・セーフ・フロム・ホームの徹底」を基本方針に定め、県連盟としての役割の再構築と隊活動の活性化に取り組との力強い方針が決定された。

ボーイスカウト振興茨城議員連盟総会開催

平成29年度ボーイスカウト振興茨城議員連盟総会が県庁議員会館でおこなわれた。

6月6日、茨城県議会1F会議室において、小川一成(守谷第1団)会長が議長となって行われた。会長は挨拶の中で世界的な著名人がボーイスカウト出身者であること。自身もスカウト出身者であることが今日の活動の源泉であると述べられた。高萩スカウトフィールドで行われる日本ジャンボレットに関しては、会員の現地訪問を勧められた。続いて、橋本知事はボーイスカウトに対する期待と今年度も高萩スカウトフィールドの整備に助成しているので、日本ジャンボレットの成功を願っていると挨拶された。山田副連盟長は元気のある、社会に役立つボーイスカウトを目指して活動を行っていると挨拶された。議案は原案通り可決された。続いて県連盟と維持財団にそれぞれ支援金が贈呈された。

つづいて八木理事長から県連の取り組みとして高萩スカウトフィールドでの日本ジャンボレット開催、管理棟の建設を含めた現地の説明がなされた後、国旗儀礼により閉会となった。



平成29年度 ボーイスカウト振興茨城議員連盟名簿

平成29年6月6日現在

会 副 会 副	成 平 夫	地 澤 山 木 井 藤 崙 村 井 上 賀 塚 崎 田 木 藤 樂 島 口 田 村 口 藤 橋 崎 川 柿 谷	源 一 郎 徹 市 寛 一 雄 進 之 一 男 之 郎 光 三 将 彰 子 男 弥 男 修 一 子 則 也 俊 俊 行
会 副 会 副	一 修 信 義	川 谷 田 手 塚 沢 岡 田 原 藤 路 田 木 塚 田 野 井 梨 條 山 田 谷 井 島 池 田 津 井	忠 亮 邦 光 い 和 典 秀 太 幸 英 美 功 政 智 伸 理 勝 達 英 一
監 幹	秋 勝 恒 静	小 長 白 井 飯 伊 山 館 石 萩 加 下 星 鈴 外 岡 海 桜 葉 西 田 江 細 田 藤 菊 森 川 常	け 田 仁 幸 詠 真 重 行
幹 事 長 代 理	明 次 弘 定 健	川 岸 佐 高 田 戸 西 村 志 石 先 島 鈴 齋 設 八 川 飯 中 田 安 高 磐 二 水 長	
事 務 局 次 幹	拓 富 昌 東 隆 典 八 正 敏 悅 洋		

平成29年度 「指導者のつどい」

6月4日、水戸市全隈町の水戸市少年自然の家で「指導者のつどい」が行われた。参加指導者は57名、スタッフ27名で『技能章とスキルトレーニング』に取組んだ。設定ベースは『野営章・野外炊事章・ハイキング章・スカウトソング章・通信章・計測章・観察章・救急法』で各1時間のセッションを各自4ベース受講として行われた。隊長はスカウトの技能章認定検査が必要なため、参加した指導者は熱心に取り組んでいた。今回はカブ隊からの参加者が多かった。



ベンチャーのつどい

県内のベンチャースカウトの交流とベンチャーラリーなどベンチャーの自発活動促進を目指したベンチャーのつどいが6月24日(土)から1泊2日で、土浦市青少年の家で開催されました。土曜日も学校があるスカウトが多いため、学校終業後に参加できるよう15時集合と遅めのスタートにして、ベンチャーラリーの企画についての話し合いをしたり、ともにキャンプ生活をして交流を深めました。翌日には、隼章の課題である大型構築物を作る活動に挑戦し、軽架橋を完成させました。たまたま同じ敷地で「つくば第1回」がビーバースカウト・カブスカウトの集会を開いており、完成した軽架橋を楽しそうにわたってくれました。



第1回救急法講習

第1回救急法講習会が5月21日(日)土浦市青少年の家で開催され、スカウト20名、指導者7名が救急法の基礎を学びました。救急法講習会は、消防署等で実施する救命講習(上級)を補完するものとして、昨年度から内容を刷新し、スカウトだけでなく指導者も含めた講習として開催しています。消防署等の救命講習には含まれない、野外活動中のケガの処置や急造担架の作成などに参加者は真剣に取り組みました。写真はペットボトルを用いた胸骨圧迫の訓練です。



団委員長研修会 事故が起きてからでは遅い!

～今年は、安全管理と危機管理について研究した団委員長セミナー～

6月18日(日)に土浦市三中地区公民館で団委員長セミナーを開催した。今年のテーマは安全管理と危機管理についてです。忙しい中、13名の団指導者が参加されたのは、事故は起こさないことが一番ですが、いざ事故が発生してから対策を考えたのでは遅いからでしょう。最初の基調講演では、河合副理事長から京都で起きたボーイスカウトのハイキング事故をはじめスカウト活動上の危機事例が紹介されました。その後は、吉川ファシリテータの進行により、グループでの事例研究に取組みました。事故が起きた時に現場から離れた本部にいる団委員長がすべきことは何かを考えると、やはり普段からの準備(危機管理計画の作成と団内への周知)が大切なことが分かります。今後は、参加された団委員長のリーダーシップにより、具体的な危機管理計画の整備や見直しが行われ、団内で具体的な役割と行動が共有されることでしょう。



第1地区

野外体験隊 in かみすわ 開催

日立地区では日立市女性青少年課およびガールスカウトと共同で日立市かみすわ山荘にて野外体験隊を実施しました。

一般の小学4年生～6年生とその保護者を対象に、6月10日～11日の1泊で開催。内容はテント設営、野外料理、ロープワーク、薪割り体験、キャンプファイヤーなど盛り沢山です。体験したことを地域で活かすことと、ボーイスカウトへの理解が広まることを期待しています。



第3地区

セーフ・フロム・ハームの研修開催

6月3日県西生涯学習センターにおいて関原県副コミッショナーを主任講師として迎え、セーフ・フロム・ハームの研修会が行われた。参加者30名で13時から17時まで基本事項、指導者としての取組、問題発生時の対応等についてグループに分かれての研修が行われ、中身の濃い、そして意義のある研修会となった。



第5地区

例年、県立中央青年の家の事業奉仕をしており、その際に、モンキーブリッジ・スラックライン・ツリー・ハウス等の野外工作物を作成して、参加した子どもたちに楽しんで貢っています。土曜日の事業なので、工作物は撤去せず、翌日の日曜日に5地区内のビーバー・カブスカウトたちを集め、合同隊集会を行っています。

今年は地域タウン誌にスカウト体験会の広告を行って、6月11日に合同隊集会を行いました。多くの体験参加者はスカウトとともに楽しく過ごし、入団に繋がった参加者もいて盛大な集会となりました。



第2地区

第2地区では地区発足40周年記念大会が開催された。

4月2日のあたかい春の陽を浴びて、地区内ボーイスカウト約200名、指導者110名、GS10名、更には近郊の子供達を含め全部で約200名が集まり、偕楽園公園四季の原には明るく元気な声が響いた。記念式典は八木理事長をはじめ関係者のご列席を賜り、スカウト表彰等が行われた。参加者は各団が趣向を凝らした団ブースで革細工、イースターエッグ、焼印付チーフリング、クラフト等を愉しんだ。モンキーブリッジには、スカウトや子供達が列をなして渡り、投石器は高さと仕掛けに目を丸くしていた。試食コーナーの豚汁も美味しいいただきました。



第4地区

6月25日土浦青少年の家でつくば第1回カブ・ビーバー野外料理体験を行いました。チラシ等で見学者を募集し、1年生から5年生までの体験希望者と一緒にカレーライスや棒パンを作りました。ちょうど同じ場所で「ベンチャーの集い」が行われており、スカウト達はVSが作り上げたA型ブリッジを渡らせていただき、とても良い活動となりました。同日、4地区において吉永協議会長「たか章」受章祝賀会が開催されました。吉永協議会長の長年に渡る功績に敬意を表し、栄える受章を参加者一同心よりお祝い致しました。



第6地区

7月9日、龍ヶ崎向陽台公園で第34回地区スカウト祭が行われました。晴天に恵まれ、参加者は170名でした。楽しいゲーム、美味しい模擬店での昼食。皆さん楽しい一日を過ごしました。

